

研究主題	<p>他者とのかかわりから学びを深める子ども（2年次） ～算数科及び生活単元の授業づくりを通して～</p>
研究主題設定の理由	<p>本校では、学校教育目標として「豊かな心を持ち、自ら学ぶ意欲と実践力のある子どもを育てる。」を掲げ、その具現化を目指し、個々の児童の実態に応じた支援を心がけながら日々の教育活動を行っている。</p> <p>本校の児童は、素直でまじめであり、よく働き、優しく聞き分けが良いという良さをもっている。反面、人や物と進んでかかわることが少なく、学習や生活において受け身であることが多い。また、表現や主張が苦手で自分の考えを持っていても積極的に伝えられないという課題もある。</p> <p>今年度本校では昨年度までの研究をもとに、より良い授業を創造、発信し、教師自らの授業力を高めるとともに、新学習指導要領において重点とされている「育成すべき能力・資質」をはぐくむことを目指す。そのために、習得・活用・探求という学習プロセスの中で、知識・技能を定着させるとともに、思考力・判断力・表現力等の育成を図り、学びに向かう力を培っていきたいと考えている。</p> <p>また今年度は、子ども自らが主体的にかかわることができるように、教科を通常学級は算数科に、特別支援学級は生活単元に絞って、単元構成の工夫及びかかわりながら学ぶ場面や思考場面の充実を図っていきたいと考えている。</p> <p>以上のことから、授業づくりを通して、「他者とのかかわり」を意識した「言語活動・思考場面の充実」を大切にしたい教育活動を実践し、子ども自身がかかわりの中で学びを深める姿を目指し、この研究主題を設定した。</p>
研究の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的にかかわりを持ち、自ら学ぶ意欲を持つ子どもを育てる。 ○ かかわりの中で、自分の思いや考えを深める子どもを育てる。 ○ 学んだことを活用して課題を解決しようとする子どもを育てる。
研究の内容	<p>(1) 単元づくりや授業づくりの研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 算数科，生活単元学習，学年の発達段階に応じた「子どもにつけたい力」の検討 ② 学ぶ者の側に立つ授業作りの研究と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学びを深める単元構成の工夫 ・ 言語活動・思考場面充実の工夫 <p>(2) 授業力を高めるための研究と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資質・能力の3本の柱の育成に関する研修 ・ 新学習指導要領をもとにした算数科，生活単元学習の指導に関する研修
研究の方法	<p>①校内研究の主題に迫るために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究主題について学年で話し合い，その学年の子どもの実態に応じてこんな姿に育てたいというイメージを持つ。 ・ 研究紀要に授業研究の指導案，授業記録，研究のまとめを集録する。 <p>②授業力向上のために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大研・中研・小研を行い，互いの授業を見合う。 ・ 授業研究会の1週間前には事前研(指導案検討，模擬授業等)を行い，課題を踏まえて授業を行う。 ・ 小研の事後研究会では，「授業研参観シート」にコメントを記入したものをもとに意見交流を行う。(2つの視点について) <p>視点1 について 視点2 本時の授業の視点について</p>
研究の計画	